

説教 入学した「とき」に考えて欲しいこと 藤原 淳賀

大学宗教主任、地球社会共生学部教授

天の下では、すべてに時機があり すべての出来事に時がある。（コヘレトの言葉 3章 1節）

ご入学おめでとうございます。
この新しい始まりの時、皆様にお勧めしたいことがあります。

第一に、終わりを考えてみてください。そうです。始まったばかりのときに、終わりをイメージしていただきたいのです。

受験のための準備をしてこられたことでしょう。合格というゴールを見据え、そのために必要なことを考え、準備を一生懸命してこられました。今やそれを達成されました。そして青山学院での生活が始まっています。

人生は続いていきます。皆さんが2022年度を終える時、どのような成長を遂げていたでしょうか。学業において、人間関係において、人格において。また皆さんが卒業される日が来ます。青山学院を去る日が来ます。その時どのような自分になっていたでしょうか。そのことをイメージしながら今を生きていただきたいのです。

青山学院での日々は、人生の中でも最も輝いている美しい日々となることでしょう。大切な学びをこのキャンパスでしていただきたいと思います。一生の友をこのキャンパスで見出していたきたいと思います。人生の方向性が培われるような経験をこのキャンパスでしていただきたいと思います。後から振り返ったときに、青山学院におけるこの大切なときがどのように見えるかをイメージして、本当に大切なことのために時間とエネルギーと心を用いていたいただきたいのです。

青山学院はキリスト教の学校です。救い主イエス・キリストが誕生されたクリスマスや、復活されたイースターを大切にします。クリスマスはイエス様の地上での生涯の始まりです。そしてそ

の終わりは十字架でした。十字架にかけられたイエス様は、息を引き取られるとき「成し遂げられた」と言われました（ヨハネ19:30）。イエス様は、救い主として終わりに達成すべきことを見据えながら生涯を送られていたのです。そしてその後復活が起こったのです。

卒業してから、「もっと友達と時間を過ごしておけばよかった」、「もっと勉強しておけばよかった」、「もっと親切にしておけばよかった」と悔いることのないように、終わりをイメージしながら、今なすべきことを考え、歩んでいたいただきたいのです。

第二に、あなたの過去を神様にお委ねしてください。すでに終わったことはもう変えることができません。失敗もあったでしょう。よくできたこともあったでしょう。失敗したことは反省しなければなりません。どこがよくなかったのか。なぜ失敗してしまったのか。準備不足だったのかかもしれません。軽率だったのかかもしれません。自己中心だったのかかもしれません。ずるい気持ちや、傲慢さがあったのかかもしれません。愛がなかったこともあるでしょう。

冷静に分析し、素直に自分の心を探り、謝るべき人には、少なくとも心のなかで、「ごめんなさい」と正直に申し上げることです。隠すことなく正直に、自分の気持ちを神さまにお伝えし、心から悔い改めの祈りを捧げます。そして恵み深い神様の御手に過去をお委ねするのです。

よくできたこともあるでしょう。しかしそれは多くの方々の支えがあってできたことです。傲慢になってはいけません。誇ることなく謙虚に、感謝と共に、よくできたことも神さまにお捧げするのです。

第三に、今日という日に集中してください。過去

を後悔し、将来の不安の中で、ころころ一杯になってしまふことがあります。それはとてもつらいことです。そしてそれは神様が願っておられることではありません。

私たちが生きているのは、今日という日です。過去は過ぎ去りました。失敗も成功も。将来のことはまだ起こっていません。不安があっても、まだ起こっていません。あなたが生きるのは、「今日」、そして「いま」という瞬間です。そこに集中するのです。

わたしが書斎の机に置いている祈りがあります。

わたしの過去、それがわたしを悩ますことは、もはやないそれはすでに神の慈しみのうちにあるわたしの将来、それがわたしを悩ますことは、いまだないそれはまだ神の摂理のうちにあるわたしが心がけねばならないのは、いま、ここ、今日という日しかし、それも神の恵みのうちにありわたしが自分の良き意思をお捧げすることにかかっている（聖フランシスコ・サレジオの祈り）

終わりをイメージすること。過去を神さまにお委ねすること。そして神の愛のうちに神を愛し、隣人を愛して、青山学院での今日の日を、そして今、自分の意志を神様にこ捧げして歩んでいただきたいと思います。

あなたの今日の歩みの上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。



幼稚園より

母の日礼拝

5/17 火 年長組

5/18 水 年中組

5/19 木 年少組

終業礼拝

7/15 金

始業礼拝

9/6 火

収穫感謝礼拝

10/28 金

創立記念礼拝

11/15 火

アドヴェント礼拝 I

クリスマスツリー点火祭

11/25 金

初等部より

お母さんへの感謝の集い

5/13 金

こどもの日・花の日礼拝

6/14 火

百天者記念礼拝

6/21 火

聖書週間特別礼拝

10/11 火

となり人を覚える礼拝

10/25 火

創立記念礼拝

11/14 月

クリスマスツリー点火祭

アドヴェントコンサート

11/25 金

新入生に おすすめの 一冊

幼稚園 Kindergarten

一人ひとりへの贈り物

『かみさまからの おくりもの』

ひぐち みちこ（こぐま社）

この絵本は作者のひぐちみちこさんが、ご自分の娘さんのために手作りしたものです。ちぎり絵ならではの優しい雰囲気の手描きとまっすぐな言葉から、作者が娘へ注ぐあたたかい眼差しが伝わってきます。

「ほぎやあほぎやあ」5人の赤ちゃんが生まれました。天使は赤ちゃんたちに「神さまからの贈り物」を届けていきます。贈り物は「よくわらう」「うたがすき」など様々で、ページをめくると次はどんなプレゼントが届くのかとわくわくします。なんだか自分も天使から贈り物もらったような気持ちになって、その贈り物の特別さや不思議さを嬉しく感じます。

新入園児の皆さんがこれから通う幼稚園には色々な方がいます。工作が好きな人や、走ることが好きな人、ごっこ遊びが好きな人。元気に話す人や、穏やかに話す人。力持ちの人や、優しい手で動物に触れる人。神さまから受け取った賜物が一人ひとりにあるからこそ、幼稚園は楽しいところです。 幼稚園教諭 岡村 亜季



La Sainte Bible : traduction nouvelle selon la Vulgate / par J.-J. Bourassé et P. Janvier ; approuvée par Monseigneur l'archevêque de Tours ; dessins de Gustave Doré ; ornementation du texte par H. Giacomelli
ドレ「ツール聖書」 全2巻（ツール刊、1866年） 大学図書館所蔵

初等部 Elementary School

問うこと・答えること

『ねえ、どれがいい？』

ジョン・バーニンガム さく

まつおか まゆみ やく（評論社）

1年生はもちろん、クラス替えや担任が変更になって緊張で表情も身体もこわばっている教室で読むと、次第に大騒ぎになること間違いなしの絵本です。

繰り返される問いと「どれもいや!」を含めた子ども達から答えのやりとり、敏感でありたいと思います。子ども達は「～していいですか」と、多くの許可を教員に求めます。そうして安心したいのでしょうか。代表的なのは「トイレに行っていないですか」。答えは「どうぞ」です。緊張が解けてきた頃、質問で返します。「どう思いますか?」上級生でさえ、この問いに目を丸くすることがあります。混乱した様子に「私が決めていいの?」と尋ねると、ますます混乱する子ども達…。

トイレには行くべき。ただし、いつでも良いわけではなく、必要なら静かに申し出てその場を離れる——学年に合わせた言葉で繰り返し伝えます。次第に、子ども達の言葉が変わっていきます。とても小さな日常の場面ですが、ここに、青山学院が求める人間像の萌芽があると思うのです。 初等部教諭 吉野 かおり



中等部 Junior High School

『塩狩峠』

三浦綾子 著（新潮社）

ようこそ青山学院へ。今回ご紹介する本は三浦綾子さんの『塩狩峠』で、本学では様々な場面で紹介される一冊です。特にその結末は鮮烈で、以前私は電車での読書中にその山場に入り、幾度も読んだその文章から目が離せず、降車駅を乗り過ごしたことがあります。それ程までの結末ですが、私にとって本作品一番の読み処は、その最後に至る主人公信夫のひたむきな生き方です。

信夫はどこにでもいる一少年でした。人に優越感を感じたり、ズルをすることもありましたが、周囲の人々に支えられ、そして神様に愛されて、神様と人に真摯に向き合う大人へと成長し、あの「最期」を迎える決断をしたのです。

きっと彼と同じ決断ができる方はそうはいないでしょう。しかし神様の愛をしっかりと感じながら自分の使命を見つけ、自分にできることを精一杯に行えば、信夫に負けない素敵なゴールが待っているはず。青山学院は皆さんのその様な豊かな歩みが実現できる学び舎です。 中等部教諭 篠原 基



高等部 Senior High School

『いのちより大切なもの』

星野 富弘 著（いのちのことば社）

「いのちが一番大切だと思っていたころ
生きるのが
苦しかった
いのちより大切なものがあると知った日
生きているのが
嬉しかった」



この詩を目にしたとき、「生きる」とはどういうことを考えさせられました。「いのちより大切なもの」を知ることは、自分が自分の力で生きているのではなく、「生かされている」存在だと気づくことから生まれる喜びではないかと思いました。

星野富弘さんは24歳の時に頸髄を損傷し、手足の自由を失いました。9年という長い入院期間に病室の天井を見つめながら後悔を重ねたそうです。ある日、大学時代の先輩が届けてくれた聖書を開き、ひとつの言葉に出会います。重い心の中に、温かい何かが湧いてくる——そんな感覚を初めて味わった星野さんは、口に筆をくわえて文や絵を書き始めました。そうして紡ぎ出された詩画には、私たちが見過ごしてしまいうような小さな、けれども大切な事柄が詰まっています。

この本を手にとって、「生かされている」自分を発見してほしいと思います。

高等部教諭 北川 理恵

大学 University

『明治革命・性・文明 —政治思想史の冒険—』

渡辺 浩 著（東京大学出版会）

入学おめでとうございます。みなさんはこれからジェンダーに関する授業を受講することもあるかと思いますが。文学交流の授業でも触れることがあります。例えば「シンデレラ」の話は、明治以降翻訳・出版された時期によって、登場人物の性格、容姿、設定などが元の話から変わっています。その時代、社会が要求する、あるべき家庭の姿、理想的女性像、男性像が反映されているのです。現在、日本女性に対する最高の褒め言葉は「かわいい」であるといわれています（渡辺浩「可愛い女の起源」『UP』東京大学出版会、2021.9）。では、「かわいい」が意味する「女性的」「女らしさ」はどういうもので誰が決めたのでしょうか。また、「男性的」「男らしさ」についてはどうでしょう。この本の第III部「性」と権力」では、江戸・明治の女性と男性理想像がどのように形成されたのかについて語られています。現代の社会における男女の理想像がいつからそう思われ、どう決められていったのかを知り、考える上で役に立つ、ジェンダー入門としてお勧めの一冊です。

文学部日本文学科教員 韓 京子



編集後記

結晶かな時、主の復活をお祝いし、わたしも新たにされ、喜びに満ちました。また新年度が始まり、新しい仲間を青山学院に主が導いてくださいました。COVID-19のパンデミックや戦争の苦しみにある人たちに心を留め、隣人をとおぼえる青山学院の歩みが主に祝福されますように祈ります。

（初等部教諭 古関ひかり）

Wesley Hall News 第139号
2022年5月13日発行
発行 青山学院宗教センター 学院宗教部長 伊藤 信
東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL 03-3409-6537（ダイヤルイン）
（URL）http://www.aoyamagakuin.jp/center/index.html
（E-mail）agcac@aoyamagakuin.jp
編集 ウェスレーホールニュース編集委員会
印刷 株式会社 万全社

*各部の予定は変更となる場合があります。

幼稚園 Kindergarten

神さまの子どもとして

橋本 治奈 幼稚園教諭

ご入園おめでとうございます。
 昨年の秋に、新入園児の方のことを想って、在園の子どもたちとチューリップやスイセンの球根を、年少組のお部屋から見える花壇に植えました。皆さんが幼稚園に入園するのを、先生たちも年中組と年長組の子どもたちも待っていましたよ。初めは嬉しいことだけではなく、ときどきすることもたくさんあるかも知れませんが、お家の方に会いたくなって涙が出ることもあるかも知れません。保育者は、一人ひとりの思いを受け止め、安心して過ごしていけるように、それぞれのペースを大切に支えてまいります。
 青山学院幼稚園で一番大切にしていることは、神さまへの礼拝です。幼稚園では、毎日お祈りをして、さんびかを歌います。嬉しい時も悲しい時も困った時も、いつでも神さまは傍にいてくださいます。
 神さまの子どもとして、これからの3年間で子どもたちにとっても、保護者の方にとっても豊かな時となりますようにと願っています。



ようこそ 青山学院へ！

新たな発見と出会いの喜びに満ちた学院生活。
 新しい仲間に向けたメッセージをお届けします。



中部部 Junior High School

神様に支えられて

久米 真奈 中部部3年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！期待でいっぱいの毎日を過ごせていますか？まだ不安な気持ちが残っているでしょうか。私も2年前は授業についていけるか、友達はあるかと不安でいっぱいでした。
 そんな時、「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」という言葉に出会いました。私は特別なことはできないし、できることは少しですが、その少しのことを頑張ろうと思いました。
 入学後2年間、コロナ禍での学校生活でしたが、私はいろいろなことに挑戦するチャンスを頂きました。北京大学附属中学校とのオンライン交流会で英語のプレゼンをしたり、救世軍恵泉ホームや養護老人ホーム白寿荘とのオンライン交流会では、年配の皆さんと励ましあう体験をしました。入学時には想像もしていなかったことができたと思います。
 これからも、神様が支えて下さっていることを思い出しながら、新しいことに挑戦したいと思います。新入生の皆さんも、挑戦で一杯の中部部生活を送って下さい！

人は友によって
 研磨される

近藤 勇太郎 中部部教諭

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中部部での新しい生活に少しずつ慣れてきたでしょうか。まだまだ、これからの学校生活に不安な気持ちを持っているかもしれませんが、先生たちは君たちのこれからを見守り、支えていきます。共に楽しく豊かな中部部生活を過ごしていきましょう。
 入学した76期の皆さんに「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。」(箴言27:17、新共同訳)という聖句を紹介します。これは私が好きな聖句の一つであり、自分自身のこれまでの実体験にも重なる聖句です。
 これから皆さんはクラスや部活で多くの友人と出会い、自分とは異なる価値観や考え方に触れることになるでしょう。その中で、楽しいことも沢山経験するでしょうし、ときにぶつかり悩むこともあるかもしれません。自分と異なるからといってその人を遠ざけるのではなく、違いを認め、多くのことを学び自分を磨いていって欲しいと思います。
 神様の導きで皆さんが素晴らしい出会いに恵まれ、一生の友と出会う中部部で得られることを願っています。



高等部 Senior High School

挑戦することの楽しさ

武藤 夏々美 高等部3年

新たに高等部のメンバーとなる皆さん、ご入学おめでとうございます。高等部には、全員参加の行事の他にも、部活動や委員会、楽しみながら聖書を学ぶグリーンキャンパスなど様々な活動があります。
 私は高等部で2年間過ごしてきて、多くの友人や先生方、そして神様に支えられて色々な活動に挑戦し充実した日々を送ることが出来ました。皆さんにも、そんな挑戦することの楽しさを味わって欲しいです。
 新しい環境に飛び込む事は不安かもしれませんが、しかし、一歩踏み出してみるとそこには新たな世界と視野が広がり、新たな人達との出会いがあります。その一歩を踏み出す勇氣は、神様が私達に備えてくれていて、そこから始める道も神様がともに歩んで下さります。「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神」(イザヤ41:10、新共同訳)。このような言葉があるように、聖書は神様が私達と共にいて下さることの証だと私は思っています。
 皆さんの高等部生活が沢山の挑戦と多くの人との出会いで溢れた3年間になる事を願っています。



「新しいぶどう酒は、
 新しい革袋に入れよ」

倉次 秀夫 高等部教諭

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
 初めて聖書を開く皆さんにとって、礼拝の時間はとても不思議で緊張する時間なのではないでしょうか。キリスト教なら知っているよ、と、すでに青山学院に何年も通ってきた皆さんもいるかと思いますが、高等部では、また新たなものの見方や考え方を大切にし、さらなる知恵や知識を拡げてもらいたいと思っています。そしてこの新たな価値観は豊かな学校生活を作っていくはずです。
 人は誰でも成長していきたいし、大きく成長していかなければなりません。古い今までの考え方や価値観にとらわれていては何も始まりません。凝り固まった思いをかなぐり捨てて、ワクワクしながら毎日を新たに始めてもらいたいです。ですからこの高等部に入学することは、大きなチャンスであります。そのためにも、新しい自分を表現していくことはありませんか。
 神様に守られる生活ができますように。

初等部 Elementary School

うれしいことで
 いっぱい

三田 真央 初等部2年

1年生のみなさんご入学おめでとうございます。しょうぶ生になるのはわくわくして、とてもうれしいですね。
 わたしが1年生の時は、一人でできないことや分からないことがたくさんありました。しっぱいをして「どうしよう。」とふあんな時もありました。でもいつも先生やお友だちがおうえんしてきょう力してくれるので、ちゃんとできるようになります。わたしもまわりの人をたすけようとかんじます。自分のできる力がふえるとうれしくなります。
 しょうぶでは毎朝れいはいをします。れいはいやおいのりをする、かみさまが見まもっていてくださることをかんじて、あん心します。そうすると、色いろなことに楽しくようせんできます。うれしいことをたくさん見つけることができます。きゅう食もとてもおいしいので、えがおになります。うれしいことがあると、かみさまのあいをかんじて、もっとうれしくなります。これからしょうぶで ーしょにうれしいことをたくさん見つけましょ。



戸びらを開けて

小林 ゆたか 初等部教諭

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
 青山学院の1年生になるあなたは、えらばれた人です。だれがえらんだのかというと、この学校を本当の意味で作った神さまです。これから青山学院でたくさんのことを学びますが、一番知ってほしいことは、あなたが神さまに愛されているということです。
 入学したら、きっとたくさんの友だちに出会えるでしょう。その友だちもあなたと同じように神さまに愛されている人です。なかよくなると1人でいるより10倍も100倍も毎日が楽しくなります。大人になるまでずっと仲のいい特別な友だちにも出会えるでしょう。
 先生たちはみんなが毎日楽しくすごせることを心からねがっています。そりや、学校にはむずかしい勉強やつらいこともあるでしょう。でも、それをのりこえる力があなたにはあるし、つらいことにはそれだけの意味があつて、それを学ぶチャンスです。おうちの方とつしよに先生たちもあなたの背中をおしたいと思います。私たちにとてもあなたは大切な人ですから。
 さあ、戸びらを開けて新しい生活をはじめましょ。

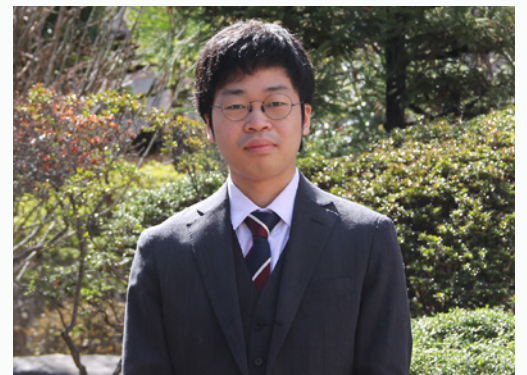


大学 University

求めなさい！

小田 佳祐 大学法学部4年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍で様々な混乱があった中、皆さんにお会いできるのは喜ばしい限りです。しかし、やりたかったことができずに不満を覚え、コロナ禍での入学を不安に思うことがあるのも実情かと思います。私自身も、そのような時期がありました。そんなとき、私は次の聖書箇所を思い出しました。
 「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。叩きなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイ7:7)
 その時まで、私はできなかったことだけを見つめ、何を求めているのかを見失っていました。しかし、いざ求めてみると、意外にも求めていたものは確かに与えられ、今は充実した学生生活を過ごしています。聖書の神様は、言葉通り、求めたら与えて下さります。いつ、どのような形で与えられるかはわかりませんが、相応しいものが時に適って与えられるということは、確かです。不安を一旦片隅に置き、皆さんも神様に祈り求めてみてください！
 皆さんが良きキャンパスライフを送れることを心よりお祈りしております。



信じるメリット

大宮 謙 大学宗教主任、社会情報学部教授

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！皆さんを心から歓迎します。ぜひ「青山学院に入学したことには何か意味がある」と信じてキャンパス・ライフを楽しんでください。
 「青山学院教育方針」で謳っているように「青山学院の教育はキリスト教信仰にもとづく教育」をめざしています。つまり、神を信じ、神が創造した人間一人一人の可能性を信じる教育です。
 信じることは不確定要素がある中で決断することです。たに「100%確かならば信じる」と言う人がいますが、この考えではいつまでも信じることはできません。「信じていたのに違っていてがっかりした」ということもある中で、それでもリスクを取って何かに賭けてみるのが信じることです。調子が良い時だけでなく、調子が悪い時にはなおさら、「自分には可能性がある」と信じ続けてください。
 信じることから、希望、忍耐力、やる気が生み出されると信じます。皆さんに神からの祝福を祈っています。



高等部より

伝道週間 5/ 6_金 - 12_木
 ペンテコステ礼拝 6/ 7_火
 グリーンキャンプ 7/23_土 - 25_月
 伝道週間 10/24_月 - 28_金
 創立記念礼拝 11/16_水
 クリスマスツリー点火祭 11/25_金

大学より

チャペルウィーク(前期) 5/16_月 - 20_金
 ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝 5/24_火
 ペンテコステ礼拝 6/ 6_月
 チャペルウィーク(後期) 10/17_月 - 21_金
 宗教改革記念礼拝 10/27_木
 創立記念礼拝 11/16_水
 クリスマスツリー点火祭 11/25_金

本部より

学院創立148周年記念礼拝 11/15_火
 女子短期大学閉学礼拝 11/16_水
 クリスマスツリー点火祭 11/25_金